令和4年4月20日

**令和3年（1～12月）冷凍食品の生産・消費について（速報）**

一般社団法人　日本冷凍食品協会

令和3年冷凍食品の生産・消費について（速報）は以下の通りです。なお、令和2年の数値については、速報値を一部修正し、確定値にしています。

**１．国内生産**

**（１）総論**

令和3年（1～12月）のわが国の冷凍食品国内生産は、数量が1,596,214トン（対前年比（以下、同じ）102.9％）と前年を上回り、金額（工場出荷額）も7,371億円（105.2％）と前年を上回った。

表-１



**（２）業務用・家庭用別**

業務用は、数量が797,547トン（102.3％）、金額が3,451億円（105.3％）と、3年連続の減少から増加に転じた。

一方、家庭用は、数量が798,667トン（103.6％）、金額が3,919億円（105.2％）と前年をさらに上回り、調査開始以来、いずれも最高値を更新した。

業務用と家庭用の比率は、数量ベースではそれぞれ50.0％、50.0％（前年50.3％、49.7％）、金額ベースでは46.8％、53.2％（前年46.8％、53.2.％）の割合となった。数量ベースでは初めてわずかながら家庭用が業務用を上回った。金額ベースでは、2年に初めて家庭用が業務用を上回ったが、3年も同様となった。

表-２　数量



表-３　金額



**（３）品目別**

大分類の品目別生産量では、農産物（90.9％）は減少したものの、水産物（101.4％）が増加、国内生産の大半を占める調理食品（103.3％）も増加に転じた。

小分類の品目で前年に対して大きく増加したのは、パン・パン生地（11,195トン増、158.4％）、ギョウザ（8,862トン増、109.9％）、カツ（5,624トン増、110.3％）、ミートボール（4,223トン増、120.4%）などであった。

減少したのは、うどん（3,645トン減、98.2％）、パスタ（3,423トン減、94.8％）、シチュー・スープ・ソース類（2,403トン減、77.5％）などであった（ただし、各分類中の「うち～、その他の～」を除く）。

　　　小分類の品目別生産量における上位20品目を見ると、引き続き、1位うどん、2位コロッケ、3位炒飯、4位ギョウザと、上位4品目は前年と同順位であった。ハンバーグ（6位から5位）、ラーメン類（7位から6位）などが順位を上げた。（小分類の品目別詳細は別添資料を参照）

表-４　品目別数量・金額



**２．輸入**

**（１）冷凍野菜**

　財務省貿易統計による令和3年(1～12月)のわが国の冷凍野菜輸入量は1,072,390トン（103.8％）で、前年に6年ぶりに減少していたのが、再び増加した。輸入額も、2,034億円（108.9％）と増加し、調査開始以来最高となった。

　　輸入量が増加した主な品目としては、ポテト（13,289トン増、103.7％）、ブロッコリー（6,450トン増、111.0％）などであったが、えだまめ（6,872トン減、90.3％）は前年に続き減少となった。

　 主な輸入先である中国（30,151トン増、106.4％）は増加し、アメリカ（15,162トン減、95.1％)はポテト、コーンを中心に減少、タイ（3,287トン減、92.9％）も減少した。

表-５　輸入量・金額推移



表-６　国別の輸入量推移



**（２）調理冷凍食品**

令和3年の調理冷凍食品輸入量は、236,142トン(92.6％)、金額は1,544億円(98.4％)となり、数量、金額ともに前年を下回った。

輸入量のうち、業務用は179,736トン（89.3％)、家庭用56,406トン(105.4％)となり、金額では業務用は1,127億円（94.1％）、家庭用は417億円（112.2％）と、業務用は量、金額とも大幅に減少し、家庭用では量、金額とも増加した。

国別では、主要な輸入先の中国（10,710トン増、110.3％）が大幅に増加、タイ（1,980トン減、98.0％）、ベトナム（293トン減、97.3％）がやや減少した。

なお、この調査は、当協会会員社のうち、輸入調理冷凍食品を取り扱っている38社を対象にしたものであり、わが国の調理冷凍食品輸入の全体の状況を示すものではない。

表-７　輸入量・金額の推移



表-８　業務用家庭用別輸入量



表-９　業務用家庭用別輸入額



表-１０　国別の輸入量推移



表-１１　国別の輸入金額推移



**３．国内消費**

当協会では、「冷凍食品国内生産量」「冷凍野菜輸入量」および「調理冷凍食品輸入量」の合計を冷凍食品の「消費量」としている。

令和3年のわが国の冷凍食品消費量は、上記の国内生産量 1,596,214トンに、冷凍野菜輸入量1,072,390トンと、調理冷凍食品輸入量236,142トンを加えた2,904,746トン（102.3％）と前年の減少から増加に転じた。これを総人口（125,502千人）で割った国民1人当たりの年間消費量は、23.1キログラム（0.5キログラム増、102.2％）と再び23キログラム台になった。また、金額ベースも1兆949億円（104.9％）と増加した。

なお、前述のように調理冷凍食品の輸入については、当協会会員だけを対象にした調査であり、会員以外の商社、流通業者等が輸入しているものを考慮すると、実際の「消費量」はこの290万トンを上回るものと考えられる。

表-１２　数量



表-１３ 金額



**≪別添資料≫**

１．冷凍食品の国内生産及び消費

２．品目別国内生産

３．品目別国内生産及び構成比率と1キログラム当たり金額

４．国内生産量上位20品目（平成28年～令和3年推移）

５．日本の冷凍野菜品目別生産国別輸入

６．調理冷凍食品輸入

《問い合わせ先》

一般社団法人　日本冷凍食品協会

〒104-0045　東京都中央区築地3丁目17番9号興和日東ビル4階

　総務企画部企画調査課

TEL：03－3541－3003

FAX：03－3541－3012